

## 胆振管内 壮瞥町立壮瞥小学校

### 1 学習活動の概要

児童の興味に基づいて設定した課題の解決に向けて、「ウポポイ」の各施設における調べ学習を位置付け、探究的な学習活動を展開するとともに、社会科や国語科の学習と関連を図るなど、教科等横断的な教育活動を行いました。

### 2 取組の様子

#### (1) 課題の設定

第4学年社会科で壮瞥町の名前の由来が、「ソウ＝滝」、「ベツ＝川」というアイヌ語が語源であることを学習し、アイヌの人たちの歴史・文化等への興味・関心を高めたことにより、児童は、「北海道に様々な町ができる以前のアイヌの人たちの生活や文化をもっと知ろう。」という学習課題を設定しました。

#### (2) 情報の収集

児童は、学習課題の解決に向けて、「ウポポイ」の各施設を見学し、「衣服」、「食べ物」、「住居」をテーマとして、調べ学習を行いました。



【博物館での調べ学習】

#### (3) 整理・分析

児童は、調べて分かったことを整理したり、分析したりすることにより、アイヌの人たちの歴史や文化について理解を深めました。

#### (4) まとめ・表現

児童は、「衣服」、「食べ物」、「住居」のテーマごとにまとめ、発表し合うことにより、理解を深めました。

また、国語科「伝統工芸を伝えよう」の学習において、本学習活動と関連させ、アイヌ民族の伝統的な着物について、調べて分かったことや伝えたいことを整理して説明文を考え、リーフレットを作成しました。



【作成したリーフレット】

### 3 児童の感想等

- ・アイヌの人たちは、様々な自然物を表す独特のアイヌ語でたくさんの文化を伝えていることが分かりました。
- ・アイヌの人たちの服装は特別な思いがあり、儀式や大切な時に着ることが分かりました。
- ・「ウポポイ」での学習を通して、いろいろなアイヌ語をもっと聞いて覚えてみたいと思いました。
- ・アイヌ民族の衣装の模様がきれいだった。アットウシという衣装は、木の皮でできているけれど風通しも考えられていてすごいと思いました。